



令和4年度 基本評価調書①		所管部局	教育庁	所管課	高校教育課
施策名	キャリア教育の推進			施策コード	1109
政策体系(中項目)	北海道の未来を拓く人材の育成			政策体系コード	3(2)A
関連重点戦略計画等	創生総合戦略				事務事業数
SDGs	 	総合判定		概ね順調	
予算額(千円)	R 4	75,013	R 3	80,624	R 2
					112,768

施策目標	家庭・地域・企業などの協力を得て、一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てるキャリア教育の充実を図る。	
現状と課題	学校と社会との接続を意識し、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要となる資質・能力を育むことができるよう、児童生徒のキャリア発達への支援の充実が求められている状況であるほか、高等学校では、進路の目標が定まらないまま卒業する生徒が一定程度存在する。また、人口減少やグローバル化が急速に進行する中で、ふるさとに誇りを持ち、地域や産業を支える人材とともに、国際的な分野で活躍できる人材の育成が必要となっている。	
前年度二次評価意見		対応状況(R4.3時点)

	今年度の取組	実績と成果
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「専門高校フューチャープロジェクト」の実施 地域産業の課題解決に向けた職業教育を推進するとともに、各学校の実践研究の成果発表を実施。 ・「マイスター・ハイスクール」の実施 職業人材育成システムの構築に向け、マイスター・ハイスクールCEOのマネジメント及びコーディネーター機能を強化した教育活動を実施。 ・「高等学校就業体験活動推進事業」の実施 大学卒業が前提となる資格を要する職業にも拡大してインターンシップを推進するとともに、「キャリア・パスポート」の効果的な活用に向け指導助言。 ・「北海道CLASSプロジェクト」の実施 探究的な学びを通じたキャリア教育を推進するとともに、カリキュラム・マネジメントの確立や授業改善等について指導主事による指導助言。 ・「就職指導の改善に関する研究」の実施 就職支援教員への指導主事による指導助言。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業人材育成システムの確立に向けて、「専門高校NEXT人材育成協議会」による検証結果を踏まえた実践的な職業教育を実施（R3 先端技術講座26回、協議会2回、R2 先端技術講座39回、協議会2回） ・地域産業の課題解決に向けて、軽種馬や食品加工に係る最先端の知識や技術の習得など、大学や研究機関、企業等と連携・協働した実践的な職業教育を実施（R3 運営委員会3回、講話47回、調教実習15回、R2 なし） ・大学等の教育機関や地域、地元の企業等と相互の連携・協力関係を確立した就業体験活動を実施（R3 実施率76.4%、R2 実施率58.8%） ・コーディネーター研修により研究指定校のキャリア教育が充実（推進校4校参加） ・学校訪問等で指導助言することで、研究指定校の調査・研究が充実（R3 5校訪問、R2 なし）

連携状況	道総研と包括連携協定を締結し、体験学習及び人材育成に係る情報の提供や、産業教育を担当する教員の専門的な知識・技術の習得を図ることを目的とした研修に協力をいただくなど、地域の教育資源等を生かした教育活動の充実を図ることができた。（北海道高等学校産業教育実技講座（水産）、令和4年8月3日～5日、12名参加）
緊急性優先性	生産年齢人口の減少を背景とした、本道の産業人材の高齢化や人材不足への対応として、AIやIoTなどの技術革新を踏まえた、実践的な知識・技術の習得と、新しい事業を創造できる人材を早急に育成する必要がある。「専門高校フューチャープロジェクト」における協議会では、農業関係者から、ヒートパイプ2件、遠隔監視システム15件についての問合せを受けるなど、新技術に対応できる人材の育成を継続的に検討している。最先端の職業人材を育成するための支援については、「令和5年度（2023年度）国の文教施策及び予算に関する提案・要望」において要望をしている。

令和4年度 基本評価調書②	施策名	キャリア教育の推進	施策コード	1109
---------------	-----	-----------	-------	------

〈成果指標の達成状況〉 ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	%	R1年度	R2年度	R3年度	最終目標(R4)	達成率	指標判定
関係機関と連携したグローバル人材の育成	目標値		68.1	78.8	100	100	95.7%	B
	実績値		84.3	87.1	95.7	-		

設定理由 道立高校の職業学科においては、企業や産業界、大学等と連携し、グローバル人材の育成に向け、全ての学校において取り組むことを目標としており、専門的な知識・技術の定着を図ることや、多様な課題に対応できる課題解決能力を身に付けた人材の育成が求められていることから設定。

分析（主な取組と成果）

企業や産業界、大学等と連携した、グローバル人材の育成は、最終年度（R4）に向け、計画どおり進められている。

指標名②	増加	%	R1年度	R2年度	R3年度	最終目標(R4)	達成率	指標判定
専門的な知識や技術を踏まえた進路選択	目標値		80.1	86.8	100	100	90.0%	B
	実績値		74.9	85.3	90.0	-		

設定理由 道立高校の職業学科において、各学科で学んだ知識や技術を生かした専門的な進路選択する者は6割程度（平成28年度）となっており、必ずしも学んだ専門性を生かしているとは言えない状況であることから設定。

分析（主な取組と成果）

企業・大学等と連携により、道立学校（職業学科設置）において、学んだ専門的な知識や技術を踏まえて進路を選択する生徒は最終年度（R4）に向け、順調に増え続けている。

指標名③	増加	%	R1年度	R2年度	R3年度	最終目標()	達成率	指標判定
	目標値						-	-
	実績値							

設定理由

分析（主な取組と成果）

【総合判定】

連携状況	○	緊急性優先性	○	指標判定	B	総合判定	概ね順調
------	---	--------	---	------	---	------	------

	対応方針番号	内容
翌年度に向けた対応方針	①	就業後3年以内に離職する割合が全国と比べて高い状況にあることから、学校と社会との接続を意識し、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要となる資質・能力の育成に取り組む。
	②	研究指定事業を通し、先端技術等の理解が深まった生徒が増加していることから、引き続き、産業界と連携・協働して先端技術の習得を図る職業教育の推進に取り組む。

令和4年度 事務事業評価調書	施策名 キャリア教育の推進	施策コード 1109
-----------------------	----------------------	-------------------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	令和4年度						令和4年度		二次政策評価意見	
						前年度からの繰越事業費(千円)	事業費(千円)	うち一般財源	執行体制			フルコスト(千円)	一次政策評価		
									本庁	出先機関	人工計		対応方針番号		方向性
0774	-	事務	進路指導に関すること	大学入学者選抜実施要綱及び大学入試センター試験実施大綱の通知	高校教育課		0	0	0.6	1.5	2.1	16,346			
0775	-	事務	進路指導に関すること	就職内定、体験入学等各種調査資料の作成・指導・助言等。進路関係会議の企画・運営	高校教育課		0	0	0.4	1.5	1.9	14,790			
0776	-	一般	新規学卒者就職対策推進費	・高校生のインターンシップの推進 ・新規学卒者の求人確保のための職場訪問旅費 ・キャリアプランニングスーパーバイザーの配置	高校教育課		50,648	40,037	0.2	1.2	1.4	61,546	①②	改善(取組分析)	
0784	-	一般	高校生対流促進事業費	高校生の地域留学を促進するため、高校と地域が連携し、魅力的な高校づくりを推進する	高校教育課		9,236	0	0.5	0.0	0.5	13,128			
0793	-	一般	実践的職業教育推進事業費	将来の本地道産業を支える人材を育成するため、工業高校と農業高校において、大学や企業との連携による実践的な職業教育を実施	高校教育課		8,538	4,572	1.5	0.6	2.1	24,884	①②	改善(取組分析)	
0437	-	一般	地学協働推進実証事業費	地域コーディネーターの活用により、地域と高校が協働・融合した体制を構築し、地域や産業界に求められる人材を育成	社会教育課		6,591	4,042	1.3	1.4	2.7	27,608			
計							0	75,013	48,651	4.5	6.2	10.7			

